

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。

2018年11月8日、ソースネクスト株式会社は、2019年3月期第2四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (百万円)	17年3月期				18年3月期				19年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	(進捗率)	上期会予
売上高	1,988	2,233	2,795	2,325	1,579	2,341	2,813	2,761	2,436	3,308			89.5%	6,418
前年比	29.1%	27.2%	34.0%	41.3%	-20.6%	4.8%	0.6%	18.8%	54.3%	41.3%				63.7%
売上総利益	1,452	1,532	1,758	1,568	989	1,579	1,933	1,779	1,355	2,126				
前年比	35.8%	16.8%	15.9%	35.3%	-31.9%	3.1%	10.0%	13.5%	37.0%	34.7%				
売上総利益率	73.0%	68.6%	62.9%	67.4%	62.6%	67.4%	68.7%	64.4%	55.6%	64.3%				
販管費	1,008	1,057	1,295	1,177	1,172	1,637	1,009	1,295	1,408	1,713				
前年比	22.9%	26.0%	27.3%	28.4%	16.3%	54.8%	-22.1%	10.1%	20.1%	4.6%				
売上高販管費比率	50.7%	47.3%	46.3%	50.6%	74.3%	69.9%	35.9%	46.9%	57.8%	51.8%				
営業利益	486	380	476	231	63	376	398	402	85	422			106.2%	478
前年比	74.2%	-17.2%	-3.2%	7.3%	-87.1%	-1.2%	-16.4%	73.7%	35.8%	12.4%				9.1%
営業利益率	24.4%	17.0%	17.0%	9.9%	4.0%	16.0%	14.2%	14.5%	3.5%	12.8%				7.4%
経常利益	497	382	472	242	65	380	400	414	85	431			107.6%	480
前年比	76.5%	-17.4%	-4.4%	6.9%	-86.9%	-0.5%	-15.2%	70.9%	30.6%	13.6%				7.9%
経常利益率	25.0%	17.1%	16.9%	10.4%	4.1%	16.2%	14.2%	15.0%	3.5%	13.0%				7.5%
当期純利益	338	257	311	165	86	242	259	675	49	350			115.6%	345
前年比	81.2%	-19.3%	-5.6%	5.3%	-74.5%	-6.1%	-16.8%	309.8%	-42.8%	44.7%				5.3%
当期純利益率	17.0%	11.5%	11.1%	7.1%	5.5%	10.3%	9.2%	24.4%	2.0%	10.6%				5.4%
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	(進捗率)	通期会予
売上高	1,988	4,221	7,016	9,341	1,579	3,920	6,733	9,495	2,436	5,743			34.2%	16,807
前年比	29.1%	28.1%	30.4%	33.0%	-20.6%	-7.1%	-4.0%	1.6%	54.3%	46.5%				77.0%
売上総利益	1,452	2,984	4,741	6,309	989	2,568	4,501	6,280	1,355	3,482				
前年比	35.8%	25.3%	21.7%	24.8%	-31.9%	-13.9%	-5.1%	-0.5%	37.0%	35.6%				
売上総利益率	73.0%	70.7%	67.6%	67.5%	62.6%	65.5%	66.9%	66.1%	55.6%	60.6%				
販管費	1,008	2,065	3,360	4,537	1,172	2,371	3,818	5,114	1,408	3,121				
前年比	22.9%	24.5%	25.6%	26.3%	16.3%	14.8%	13.6%	12.7%	20.1%	31.6%				
売上高販管費比率	50.7%	48.9%	47.9%	48.6%	74.3%	60.5%	56.7%	53.9%	57.8%	54.3%				
営業利益	486	866	1,342	1,573	63	438	836	1,238	85	508			20.3%	2,499
前年比	74.2%	17.3%	9.1%	8.8%	-87.1%	-49.4%	-37.7%	-21.3%	35.8%	15.8%				101.9%
営業利益率	24.4%	20.5%	19.1%	16.8%	4.0%	11.2%	12.4%	13.0%	3.5%	8.8%				14.9%
経常利益	497	879	1,351	1,593	65	445	845	1,259	85	516			20.6%	2,502
前年比	76.5%	18.2%	9.2%	8.8%	-86.9%	-49.4%	-37.5%	-21.0%	30.6%	16.1%				98.8%
経常利益率	25.0%	20.8%	19.3%	17.1%	4.1%	11.4%	12.5%	13.3%	3.5%	9.0%				14.9%
当期純利益	338	595	906	1,071	86	328	586	1,261	49	399			21.9%	1,818
前年比	81.2%	17.8%	8.6%	8.1%	-74.5%	-45.0%	-35.3%	17.8%	-42.8%	21.7%				44.1%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

チャンネル別売上高 (百万円)	17年3月期				18年3月期				19年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
スマートフォン事業者	388	401	391	384	364	290	282	270	238	222		
前年比	34.7%	36.4%	15.0%	17.1%	-6.4%	-27.7%	-27.9%	-29.7%	-34.6%	-23.4%		
自社オンラインショップ	974	939	1,152	941	899	968	1,414	1,109	1,046	1,269		
前年比	30.0%	3.6%	10.6%	4.1%	-7.7%	3.1%	22.7%	17.9%	16.4%	31.1%		
家電量販店・他社EC	572	826	1,159	870	185	921	928	1,172	817	1,573		
前年比	31.3%	61.3%	74.8%	136.4%	-67.6%	11.5%	-19.9%	34.7%	341.6%	70.8%		
その他	52	69	92	109	130	161	183	217	333	243		
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
スマートフォン事業者	388	789	1,180	1,564	364	654	936	1,206	238	460		
前年比	34.7%	35.5%	27.9%	25.1%	-6.4%	-17.1%	-20.7%	-22.9%	-34.6%	-29.7%		
自社オンラインショップ	974	1,913	3,065	4,006	899	1,867	3,281	4,390	1,046	2,315		
前年比	30.0%	15.5%	13.6%	11.3%	-7.7%	-2.4%	7.0%	9.6%	16.4%	24.0%		
家電量販店・他社EC	572	1,398	2,557	3,427	185	1,106	2,034	3,206	817	2,390		
前年比	31.3%	47.4%	58.7%	73.1%	-67.6%	-20.9%	-20.5%	-6.4%	341.6%	116.1%		
その他	52	121	213	322	130	291	474	691	333	576		

出所：会社データよりSR社作成

*2015年3月期より販売チャンネルの区分を一部変更したため、前年度の数字は参考値。

2019年3月期第2四半期連結実績

概要

2019年3月期第2四半期累計（上半期）実績は、売上高5,743百万円（前年同期比46.5%増）、営業利益508百万円（同15.8%増）、経常利益516百万円（同16.1%増）であった。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期は子会社の税務上の繰越欠損金による税効果で法人課税が繰り延べられていたが、当第2四半期にはこの欠損金が無くなり法人税が増加したが、投資有価証券の売却益111百万円を計上したことにより399百万円（同21.7%増）となった。

2019年3月期第2四半期累計（上半期）会社予想に対する当上半期実績の達成率は、売上高89.5%、営業利益106.2%、経常利益107.6%、親会社株主に帰属する四半期純利益115.6%となった。

同社は、2018年9月に初代モデルから大幅に進化した通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）W」を発売した。最新版は自社開発に切り替えた。通信も4Gに対応したことで応答性能、使いやすさともに向上し、市場からの注目度も高い。

「POCKETALK® W」の発売に伴い、売上高は前年同期比大幅増となったが、当初8月を予定していた販売時期が9月にずれ込んだことに加え、大型台風が相次いだことで空路での製品輸送に遅れが発生し、9月の入荷数が想定を大幅に下回り、当初見込んでいた販売台数分の在庫が9月中に入荷されず、売上高は計画未達となった。一方、利益については、自社開発に切り替えたことで原価率が改善し、販管費についても「POCKETALK® W」の入荷時期にあわせてTV・雑誌・交通広告等の露出期間を見直したことにより、広告宣伝費が当初の見込みを下回ったことから、当初計画を上回っての着地となった。通期会社予想は変更していない。

2019年3月期通期会社予想に対する当上半期実績の進捗率は、売上高34.2%（2018年3月期実績に対する上半期実績の進捗率41.3%）、営業利益20.3%（同35.4%）、経常利益20.6%（同35.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益21.9%（同26.0%）となった。

2018年9月の訪日外客数は前年同月比5.3%減の2,160千人（2018年10月、日本政府観光局調べ）と、台風や地震による空港閉鎖への影響で訪日外客数は減少した。但し、東南アジア・英国を除く欧米豪州については、航空便に欠航などはあったものの、訪日者数は増加傾向を維持している。2020年の東京オリンピックや昨今の世界情勢、旅行先の多様化などを背景に、訪日旅行市場を取り巻く環境は好調に推移している。

こうした状況の中、同社は、スマートフォン向けアプリ及びパソコンソフト、IoT製品の新規ユーザーの獲得と、マーケットの拡大に取り組んだ。

当第2四半期は、2018年9月に初代モデルから大幅に進化した通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）W」を発売した。最新版は自社開発に切り替えたことで、画面の大型タッチパネル化、新翻訳エンジンの採用など、大幅な機能改修強化を実施した。通信も4Gに対応したことで応答性能、使いやすさともに向上した。発売に伴い、TVやラジオ、雑誌や交通機関の広告等での露出が増え製品認知が進み、個人ユーザーの増加に加え鉄道・小売業界等の法人、飲食店、地方観光自治体などへの導入が拡がり売上高が大きく伸長した。ただし、当初8月を予定していた販売時期が9月にずれ込んだことに加え、大型台風が相次いだことで空路での製品輸送に遅れが発生し、9月の入荷数が想定を大幅に下回ったことから、当初想定していた販売台数分の在庫が9月中に入荷されず、売上高は計画未達となった。

売上総利益は3,482百万円（前年同期比35.6%増）となった。製品構成比率の変化に伴い、売上総利益率は前年同期比4.9%ポイント低下の60.6%となった。販管費は「POCKETALK® W」の広告宣伝費や展開強化のための販売促進費、人員の増加に伴う人件費、自社オンラインショップの出荷費用、自社システムの改修に伴う業務委託費などが増加し3,121百万円

(前年同期比31.6%増)となった。しかし、増収効果が大きく、売上高販管費率は前年同期比6.2%ポイント低下の54.3%となった。

既存事業は、年末の年賀状シーズン到来に先駆けて、主力製品であるハガキ作成ソフトの拡販を推進した。

販売チャネル別営業概況

各販売チャネルの営業概況は以下の通りである。

スマートフォン・通信事業者（キャリア）:売上高460百万円（前年同期比29.7%減）

同チャネルでは、国内主要3キャリアが提供する定額アプリ使い放題サービスへのコンテンツ提供及び販売に注力している。KDDI株式会社の「auスマートパス」への提供は、海外の人気アプリを中心に合計35アプリ（前年同期：39アプリ）となった。ソフトバンク株式会社の「App Pass」へは合計32アプリ（前年同期：27アプリ）となった。株式会社NTTドコモの「スゴ得コンテンツ」は合計で5サイト24アプリ（前年同期：5サイト23アプリ）となった。主力アプリでは製品間の連携機能や常駐機能を追加することで利用者増に努めた。しかし、各キャリアが提供する定額アプリ使い放題サービスの会員増の鈍化に伴うコンテンツ提供事業者への収益分配原資の削減などが影響し、前年同比減収となった。

自社オンラインショップ:売上高2,315百万円(前年同期比24.0%増)

同チャネルでは、同社のウェブサイトソースネクストeSHOPを併設し、ソフトウェアおよび「POCKETALK」等を中心としたIoT・ハードウェア等の販売を行なっている。

「POCKETALK® W」は、専用のブランドサイトを新たに開設した。本体だけでなく専用ケースなどのアクセサリのラインナップも増やし、「Amazon」への出品も開始した。旧機種購入者に対する「買い換え応援キャンペーン」も好評で売上に寄与した。

その他、年賀状シーズンに向けたハガキ作成ソフトや、「B's動画レコーダー」などの自社ブランド製品も発売し、順調に登録数を拡大した。

家電量販店および他社ECサイト：売上高2,390百万円（前年同期比116.0%増）

同チャネルでは、家電量販店および他社ECサイトなどにおいて、個人ユーザー向けパソコンソフト等の販売を行っている。

「POCKETALK® W」は、9月の発売にあわせ全国の家電量販店向けに大規模な展開・拡販に努めた。店舗では実機による体験コーナーや、タレントによる動画・パネルを設置することで製品の認知度向上にも努めた。また、ハガキ作成ソフトの展開も開始し、需要が拡大する年末に向けて拡販推進する予定である。

その他:売上高576百万円（前期比97.9%増）

主に、法人向けのPOCKETALKの販売・レンタル提供やパソコンソフトや、アプリの使い放題サービス等を行なっている。

格安スマホやSIM関連事業者向けに提供したAndroidアプリの使い放題サービスや、前期に発売した留守電が読めるアプリ「スマート留守電」が、携帯・スマホ購入ユーザー向けに利用が拡大し収益に寄与した。

法人向け「POCKETALK」は、空港や鉄道などの交通機関、小売や派遣会社など訪日外国人や外国人向けのアウトソーシング業を中心とした企業への提供を順調に進めました。販売店向けに「お取引先様用web」を開設し、個人事業主や地方

自治体、グループ企業向けにガイドラインなどの資料を迅速に提供する販促ツールを作成した。また、「POCKETALK」の周辺オプションサービスとして、レンタル用の「オペレーター通訳サービス」の展開を開始した。

既存製品では、格安スマホやSIM関連事業者向けに提供した留守番電話が読めるアプリ「スマート留守電」などの月額利用が引き続き拡大し、収益に寄与した。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp